

くもんの子ども浮世絵
コレクション

浮世絵

遊べる



江戸の子ども絵
おもちゃ絵大集合！

2023
10/7(土) → 11/19(日)

開館時間＝午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日＝月曜日(祝日の場合は開館)、10月10日
観覧料＝一般/大・高生 800(640円) / 中学生以下無料 *身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料 *()内は20名以上の団体料金 *企画展の料金を収蔵品展を無料観覧できます

主催＝栃本市教育委員会、栃本市立美術館 後援＝朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、ケーブルテレビ栃木、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送 特別協力＝公文教育研究会 企画協力＝青幻舎プロモーション

(上から時計回り)歌川芳藤(五拾三次之内鑑之椽)嘉永元-2年(1848-49)頃(部分)、歌川国芳(ほうづき尽 すまふ)弘化(1844-48)頃(部分)、歌川国芳(子宝遊)天保(1830-44)末頃(部分)、喜多川歌麿(風流子宝船)文化2年(1805)(部分)、歌川国芳(ほうづきつくし かん信)弘化(1844-48)頃(部分) すべて公文教育研究会蔵

栃本市立美術館
Tochigi City Art Museum

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/
〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26
Tel:0282-25-5300



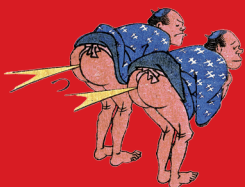
江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！

江戸や明治の暮らしをいきいきと描いた浮世絵には、役者絵や美人画だけでなく、子どもが主役といえる作品も数多く存在します。

遊びや学びにいそむ子どもの姿を描いた「子ども絵」、親子の情愛を描いた風俗画や物語絵、鑑賞や遊びに使っていた「おもちゃ絵」からは、子どもたちが家族や地域の大人たちに大切に育てられ成長していった様子が伝わってきます。公文教育研究会が子ども文化研究とその史料の収集をはじめたのは1986年。史料の総点数は約3200にのぼり、その半数以上はこのような「子ども浮世絵」です。

本展では、公文教育研究会の子ども浮世絵コレクションから、鈴木春信・喜多川歌麿・歌川国芳・歌川広重などの浮世絵師による「子ども絵」や「おもちゃ絵」、更には子どもを主題とした絵巻や屏風、当時遊ばれていた貝合わせの道具や盤双六も展示します。大人も子どもも楽しい浮世絵の世界！ぜひじっくりとご覧ください。

*前期(10/7~29)と後期(10/31~11/19)で一部作品の場面替えを行います。



くもんの子ども浮世絵
コレクション

浮世遊べる

2023
10/7(土)~11/19(日)



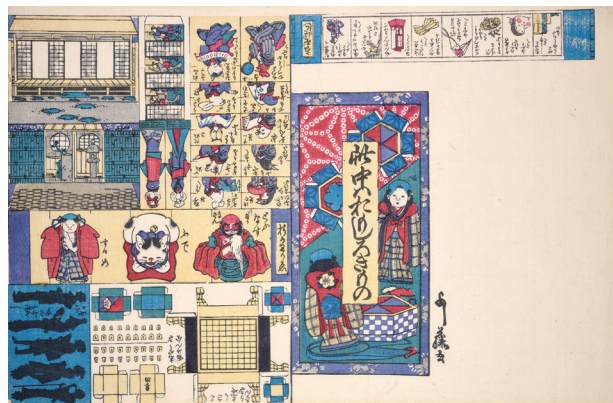
1



2



3



4

1.歌川国芳《坂田怪童丸》弘化2-3年(1845-46) 2.鈴木春信《夏姿母と子》明和4-5年(1767-68)頃 3.山本界雲《今すかた 花やしき》明治42年(1909) 4.歌川芳藤《此中はおもしろきもの》慶応(1865-68)頃
すべて公文教育研究会蔵

歌川重宣《勝手道具はんじもの(上)》嘉永2-5年(1849-52)(部分)／歌川広重《風流をさなあそひ(男の子)》天保(1830-44)初期(部分)／歌川広重《風流おさな遊び(女の子)》天保(1830-44)初期(部分)／歌川国芳《ほつつき尽 みそぎ》弘化(1844-48)頃(部分)
すべて公文教育研究会蔵

関連イベント

◎講演会

「浮世絵と遊ぼう！」

—大人のまなざし、子どもの暮らし—

講師=藤澤紫(本展監修者、國學院大學教授、国際浮世絵学会常任理事)

日時=10月8日(日) 14:00~15:30(開場13:30)

会場=キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室

定員=70名(要事前申込、先着)

参加費=無料

申込方法=9月26日(火) 10:00~ 電話にて受付開始

◎学芸員によるギャラリートーク

日時=10月21日(土)、11月12日(日)

各回14:00~(1時間程度)

集合場所=展示室A(要当日の企画展観覧券)

◎キッズギャラリートーク

日時=11月5日(日)

14:00~14:30

集合場所=多目的室

(保護者は要当日の企画展観覧券)

◎ワークショップ 多色摺り！ミニすり体験

日時=11月5日(日) 10:00~16:30

参加費=当日の企画展観覧券をお持ちの方に限り、お一人様1回無料(同伴の中学生以下のお子様も体験できます)

同時開催

收藏品展Ⅱ

展示室C

栃木市所蔵の喜多川歌麿「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」(すべて高精細複製画)と、栃木市立美術館所蔵の喜多川歌麿の肉筆画を展示いたします。

※前期(10/7~29)と後期(10/31~11/19)で一部作品の展示替えを行います。

観覧料=一般/大・高生 330(260)円/中学生以下無料

(収藏品展のみ)

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料

* ()内は20名以上の団体料金

*企画展の料金で収藏品展を無料観覧できます

栃木市立美術館 Tochigi City Art Museum

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 Tel:0282-25-5300



X (Twitter):

@tcam_tclm



Facebook



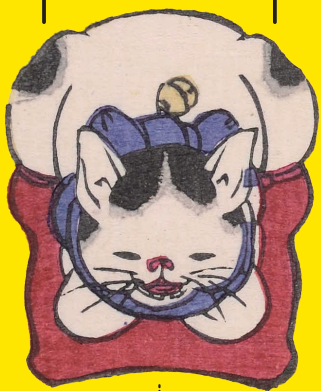
Instagram:

@tcam_tclm

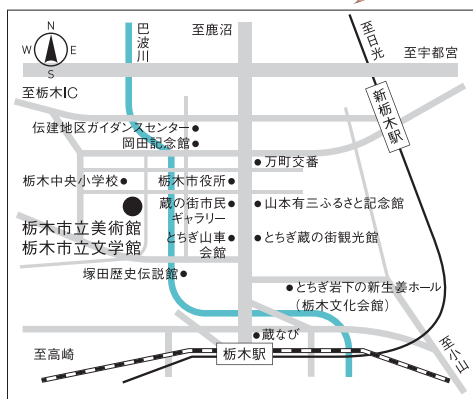
きりとって、つくってみよう!

—をヤマオリ—をタニオリにして
びったりあわせると……

✂ キリトリ線



ねこがふでになっちゃった!



■交通アクセス

- 電車 栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
- バス 栃木駅北口からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で「藤沼酒店前」下車、徒歩約1分
- 車 東北自動車道、栃木ICから約10分



歌川芳藤《此中はおもしろきもの》(部分) 慶応(1865-68)頃